

整理収納アドバイザーが お勧めする「衣替え」

リビングサービス課
大森 力

衣替えはいつからするべきなのか？ 毎年、悩まされる方も多いのではないのでしょうか。そこで衣替えの目安とされる時期について紹介します。また、少し面倒な衣替えをスムーズにするために、衣類収納のコツや、収納リフォームを紹介します。

衣替えの意味とは为什么呢？

衣替えとは、元々は季節の変わり目にその季節に合った衣服に着替える習慣のことを指していました。その習慣が定着化し、季節ごとにクローゼットの中を整理整頓することが現在使われている衣替えの意味合いです。

衣替えには、ただ衣服を入れ替えて収納するだけでなく、季節的に着られなくなる服をしっかりとキレイな状態に保つメンテナンスの意味も含まれています。洗濯やクリーニングに出し、次に袖を通す際に気持ちよく着られるようにするための役割があることもあります。

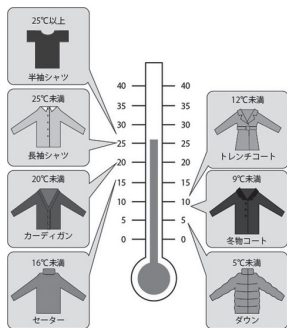
衣替えの時期はいつからする？

春・夏服への衣替え 6月1日 秋・冬服への衣替え 10月1日

衣替えは、暑くなる前の6月はじめと寒くなる前の10月はじめに行うのが一般的です。地域や年によっても、月の最高・最低気温は変化します。あらかじめ時期を決めるのではなく、最高気温を目安にして衣替えを行うのも一つの方法です。もちろん、地域によって多少前後することもあります。衣替えして間もないうちは気温も上下するため、移行期間を2、3週間設け徐々に完成させると良いでしょう。

天気予報で毎日の最高気温を耳にするとありますが、以下の気温が衣替えの気温の目安となります。

最高気温15～20℃ 春・秋服へ衣替え 最高気温22℃以上 夏服へ衣替え 最高気温15℃以下 冬服へ衣替え



衣替え収納をスムーズに行うコツ

なかなか時間がかかってしまい面倒なイメージがある衣替え。そんな衣替えをスムーズに行えるようにするためのコツを解説します。年に2回の衣替えのタイミングで、クローゼットをキレイに収納しましょう。

① 不要な服を処分する

衣替えは、着る服・着ない服を見極め、不要な服の量を減らすとても良い機会です。はじめに、全ての服をクローゼットから出してみることから始めましょう。服の汚れやほつれ等が原因で着られない物や、デザインやサイズの来シーズンは着ることがなさそうな服を躊躇なく処分します。見極めが難しい場合は実際に試着して確認がおすすめです。捨てるのはもったいないという洋服はリサイクルショップやネットオークションを利用すると意外な値段で売れるかもしれません。

② 服を季節ごとに分ける

何から手を付けていいかわからないという人はまず衣類を季節毎に分けましょう。真夏のための服や一年を通して着る服、秋と冬に着る服など大まかにいくつかのチームに分けます。一年を通してよく着る服は一番出しやすいところに。あとは秋と冬の服や真冬の服などを出しやすいところへ収納します。チーム分けすることで衣替えはもちろん、服が混ざらないのですぐに着たい服を見つけることが出来ます。服を季節ごとにグループ分けしておくことで、クローゼットから取り出しやすくなります。加えて、次の衣替えの際も楽になるのでぜひ一度お試しください。

③ 服の収納場所を決めて収納する

シーズンごとにグループ分けした服をどこに収納するかを決めましょう。しばらく着る機会のない季節の服は、クローゼット棚の上の方や奥側など比較的取り出しにくい場所に収納します。逆に、すぐ使う季節の服は、手前の取り出しやすい場所に収納を。場所が決まったら採寸し、サイズに合った収納ケースやボックスなどを選択しましょう。引き出しや棚よりも、一目瞭然と分かりやすいのがクローゼット。ハンガーに掛けるだけで収納となるので、とても簡単です。これをフル活用しましょう。まずニットなど伸びる素材はNG。すぐ取れる位置に春と夏の衣類を移動し、秋や冬ものは奥へサーッとハンガーを流しましょう。これだけでOK。帽子やネクタイなどクローゼットを活用出来る小物もいっぱいあります。ぜひチェックしましょう。

【収納の裏ワザ！】厚手のコートは「圧縮袋」も活用

中綿やフェザーを使用したダウンコートは、「圧縮袋」を使うとコンパクトに収納可能です。手で袋をくるくると巻いて空気を抜くタイプよりも、掃除機や付属のポンプで空気を抜くバルブ式の方が、より強力に圧縮できます。中には、コートをクローゼットに掛けたまま圧縮できる商品も販売されています。ただし、ウール素材やファー付きのコートは、圧縮すると型崩れしたりシワになってしまったりする可能性があるので注意してください。また、時間が経つと圧縮袋に空気が入り込んで、膨らんでしまうケースもあります。

最後に、衣替えは面倒なイメージもありますが、衣替えのコツさえつかめば、それほど時間もかからずスムーズに行えます。また、不要な服の処分はためらわずすることで、衣替えが楽になります。尚、衣替えをし、服を整理しても今の収納、クローゼットのスペースが足りない、もっと増やしたいなどのご相談はぜひ当社までお寄せください。

参考：大建工業 https://www.daiken.jp/consumer/storage/guide/space/wall/201215-01.html#fuku_01

iPhone修理始めました!!

取締役営業本部長 水之浦 英樹

この度、弊社内において「モバイル修理.JP伊賀上野店」をオープンしました。

皆様の携帯は何を使っていますか？ 日本人の約7割がiPhoneを使っているみたいです。

実際どれくらい長く使えるのでしょうか。Appleの公式見解では3年とされています。皆さんはケースに入れたりフィルムを貼ったりして非常に大事に使用されているかと思います。私自身ケースを外すと新品同様です。

しかしながら新しいのが登場すると欲しくなったりしますが本当にもったいないと思いませんか？ 多少の精度は上がりますが、まだまだ使用できと思っています。

そしたら交換時期はいつかと言いますと、5年が一つの区切りで毎年iOSの更新がされてきますが、更新が出来なくなれば交換しても良いかもしれませんが。そしてセキュリティ対策もApple社はしっかりしているので10年がもう一つの目安という事です。10年はさすがに厳しいですけど。

長く持たせたいが問題になるのがバッテリーの消耗だと思っています。

では、どの程度摩耗しているとNGなのか？ ですが、これに関しては、最大容量が80%未満といったひとつの公式の目安があります。

バッテリーはフル充電サイクルを500回繰り返すと、本来の容量の最大80%を維持できるように設計されています。

iPhoneを使用している方のほとんどが1日に1回は充電すると思います。そうすると、約1年半～2年でiPhoneのバッテリーは本来の最大容量が80%にまで劣化することになります。

電池の減りが早くなったiPhoneが長年使っているものであれば、バッテリーの劣化が原因の可能性がありますが。使い方にもよりますが、一般的に1年半から2年程度でバッテリーは劣化してきます。

バッテリーの摩耗の確認方法は…

iPhoneの電源を入れて「設定」>「バッテリー」>「バッテリーの状態と充電」から。ここで以下のような表示になっていたら、バッテリーの交換タイミングです。

→ 最大容量が80%未満

Appleが想定する、iPhoneで問題のない最大容量は80%。これを下回っていた場合は、想定されている正常なパフォーマンスを発揮できない状態です。急激なバッテリー低下や、突然のシャットダウンなども起こる可能性があります。

日常のシーンに当てはめると、使用頻度にもよりますが、バッテリーが半日持たないレベルになって来ますので、それはもうバッテリー寿命が近いと判断していいと思います。

そこで弊社内にiPhone修理を行う事業を始めました。

もし皆さんは画面が割れてしまったりバッテリーを交換したい場合はメーカーに問合せをしたり正規店にお願いすると思います。最近バッテリーの持ちが悪いと感じたら、いつでもお気軽にご相談ください。お見積りは無料です。

オープンチラシをご持参の場合500円OFF。

さらに！弊社LINE友だち登録済みのお客様には1,000円OFFさせていただきます。

修理価格の詳細や予約して頂く場合はモバイル修理.JPのホームページ内に三重伊賀上野店が掲載されていますのでそこで確認して見てください。

取替部品の在庫の状況もありますのであらかじめ電話予約もしくはWEB予約からお願いします。

末永くお付き合い頂きますようスタッフ一同お待ちしております!!



住所 伊賀市四十九町1140(アポロ興産内)

電話予約番号 080-3843-4345

電話受付 月曜日～金曜日(土日祝休み)

受付時間 9:00～17:00

WEB予約 <https://mobile-shuri.jp/igaueno>

